

リモートワークタウン ムスブ宮若 グラフィック広告を公開しました

2020年9月18日

「リモートワークタウン ムスブ宮若」のコンセプトを表現する、グラフィック広告2種を公開しました。本資料では、ムスブ宮若プロジェクトが目指すものや、グラフィック広告のデザインに込められたクリエイターの意図をご紹介します。2ページ以降では、大きめのサイズでグラフィック広告をご覧いただけます。

「リモートワークタウン ムスブ宮若」について

宮若市とリテール AI 企業のトライアルが協力して始める、まちづくりプロジェクトです。キャッチフレーズは「むすんで、ひらくまち。」遠く離れていても、リモート技術でむすばれて、その結果、人の叡智が花ひらき、「まち」も「人」も、世界に向けて広くひらかれるまちづくり構想です。「IT・AI テクノロジーと 5G」、「ゆたかな自然」、「アクセスのよさ」の3つを掛け合わせて、ニューノーマルの世界に求められる「快適な距離感」の実現を目指します。



グラフィック広告 クリエイターから

トライアルの青、宮若市市章のオレンジ/緑に着想を得、それらが織りなすハーモニーをグラフィカルに表現。チェック柄はまちが形成される様子を、ドットはリモートの様子を。パターンは絵柄が際限なく続くもので、それによって永遠の拡がりを感じさせ、世界が広がることを想起させる。



まちづくりろ。

働き方が変わるとき、まちづくりのあり方も大きく変わります。
その昔、まちづくりは強い人の仕事だった。
お殿さまは、自分の国に城下町をつくった。政府や企業は、
都心に通勤する人のためにニュータウンづくりを推進した。

時は流れ、人の社会はどんどん開かれていっている。
領主から政府や企業、そしてまちで暮らす一人ひとりへ。
活動の拠点が職場から家へと広がっていくこれからの社会、
みなさまの暮らしを家の近くで支えてきたスーパーを運営する会社
だからこそできることがある。

トライアルグループは九州発祥のIT企業として、
福岡県宮若市でまちのみなさまと一緒に、
あたらしいまちづくりに挑みます。人と人、価値と価値が、
時代にあった快適な距離でむすばれる暮らしを目指して。

まちの中心は場所から人へと変わっていきます。
「リモートワークタウン ムスブ宮若」は、一人ひとりが
世界の中心になれるまちづくりを行うプロジェクトです。

トライアルグループは
福岡県宮若市とともに、
日本初のリモートワークタウン
づくりを始めます。

むすんで、ひらくまち。

REMOTETOWN  MUSUBU
Miyawaka

変えるなら、世界ごと。トライアルグループ

TRIAL

トライアル 検索



リモートワークタウン、 はじめます。

仕事は家に持ちこまない、
それが切り替えのできる大人だと思われていました。
地方には世界で活躍できない、それが夢を求めて
都会に出ていく若者の姿だと思われていました。

そんな時代が、いま変わろうとしています。
時間や場所、相手を自由に選ぶことができるリモートワークが
広がることで、これからは一人ひとりの自由度は
どんどん増していくでしょう。あたらしいやり方で、
あたらしい想像が膨らんだら、あたらしいアイデアを世界に出そう。



私たちトライアルグループは九州発祥のIT企業として、
福岡県宮若市でまちのみなさまと一緒に
あたらしいまちづくりに挑みます。
毎日の暮らしを支えてきたスーパーを運営する会社だからこそ
膨らませることができた夢。
「リモートワークタウン ムスブ宮若」は
職場や地方を超えて、一人ひとりが世界の中心になる、
あたらしい暮らしづくりのプロジェクトです。

仕事を家に持ちこもう、想像を外に持ちだそう。

トライアルグループは
福岡県宮若市とともに、
日本初のリモートワークタウン
づくりを始めます。



※国内で初めて市役・行政事務室が協働して開設する、リモートワーク専用スペースを設けようとしています。

むすんで、ひらくまち。

REMOTETOWN  MUSUBU
MiyaWaka

変えるなら、世界ごと。トライアルグループ

TRIAL

トライアル 検索